



# 第11回 北里大学高等教育開発センター講演会

## 学生の学ぶ意欲を引き出すのはあなた！

～ 教える側が見逃していること ～

- ・基調講演 学習意欲をどう引き出すか -心理学理論と教育実践から-  
いちかわ しんいち  
 演者 **市川 伸一 氏** 東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース教授

### ・学内事例紹介

平成 27 年 **2月27日(金)** 15:00～17:00

会場:北里大学相模原キャンパス L2 号館 209 講義室

主催:北里大学高等教育開発センター

**参加費無料**

### プログラム

15:00～15:05	開催にあたって	北里大学高等教育開発センター長	石井 邦雄
15:05～16:00	基調講演	東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース教授	市川 伸一 氏
16:00～16:20	学内事例紹介 1	北里大学薬学部教授	小林 義典 氏
16:20～16:40	学内事例紹介 2	北里大学看護学部教授	城戸 滋里 氏
16:40～17:00	質疑応答	座長 北里大学高等教育開発センター長	石井 邦雄

### 参加申込み・お問い合わせ先

氏名・所属・役職・連絡先をお書き添えの上、**2月20日(金)** までにメールにてお申込みください。

E-mail: [cdhe@kitasato-u.ac.jp](mailto:cdhe@kitasato-u.ac.jp)

お問い合わせ: 北里大学高等教育開発センター 担当: 志津野 (TEL: 042-778-9725)

### 会場アクセス

#### ■ 新宿駅→相模大野駅

新宿駅より小田急線急行「相模大野」駅(北口)下車(所要時間約 40 分)

○相模大野駅→北里大学

神奈川中央交通バス 1 番乗り場より乗車、

「北里大学」下車(所要時間約 25 分)

1 番乗り場: 北里大学病院行、北里大学経由相模原駅南口行

#### ■ 横浜駅→相模原駅

JR横浜駅より横浜線快速「相模原」駅(南口)下車(所要時間約 25 分)

○相模原駅→北里大学

神奈川中央交通バス 2 番乗り場より相模大野駅行き乗車、

「北里大学」下車(所要時間約 25 分)



## 第 11 回北里大学高等教育開発センター講演会開催要項

### 〔日時〕

平成 27 年 2 月 27 日（金）15：00～17：00

### 〔会場〕

北里大学相模原キャンパス L2 号館 2 階 209 講義室

※白金（本館 4 階役員会議室）、十和田、新潟、北本を TV 会議接続

### 〔講演会大テーマ〕

「学生の学ぶ意欲を引き出すのはあなた！ ～教える側が見逃していること～」

### 〔開催趣旨〕

『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』と題する平成 24 年 8 月 28 日の中央教育審議会答申は、大学に「これからの社会を担い、未知の時代を切り拓く力のある学生の育成」を求めています。そして、そのような学生を育成するためには「学士課程教育の質的転換」が必要であり、「学生は主体的な学修の体験を重ねてこそ、生涯学び続け、主体的に考える力を修得」することができるかと結論しています。このように、大学には、学生が主体的な学修の体験を重ねる場として機能することが求められています。

しかし、そのような社会の要請に反して、近年、学生の学習意欲低下が問題となっています。どうしたらそれをくい止め、向上へと反転させることができるのか、これこそが、今、大学教育に携わる私たちにとって、最優先で取り組まなければならない課題であると言えます。

本講演会は、学生の学習意欲を向上させるために、教える側ができることについて理解するとともに、学内の取り組み事例を紹介し、情報の共有化を図ることを目的に開催いたします。

### 〔プログラム〕

- 15：00～15：05 開催挨拶
- 15：05～16：00 基調講演
- 16：00～16：20 学内事例紹介 1
- 16：20～16：40 学内事例紹介 2
- 16：40～17：00 事例紹介を踏まえた質疑応答

### 〔基調講演〕

#### < 演者 >

東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース教授

市川 伸一 先生

#### < 演題 >

学習意欲をどう引き出すか ―心理学理論と教育実践から―

#### < 講演要旨 >

近年の心理学では、内発的動機づけ・外発的動機づけといった古典的な分類を越えて、より詳しく、個人差やメカニズムを考えるようになってきている。学習動機に応じた教育を考えると、その内容や方法もさまざまなものが出てくる。とくに、学術的内容を講義形式で教えるというスタイルから、大学の授業がどう変わりうるかを考えていきたい。また、学習者自身が動機づけについて心理学理論を知り、セルフマネジメントに役立てるといった可能性も考えていく。